

# 平成 27 年度 事業計画書

(平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで)

特定非営利活動法人遠野まごころネット

## 1 事業実施の方針

「被災地復興支援」と「風土を生かした地域づくり」は、揺るぎ無い大きな目標です。従来も被災者の見守り、寄り添い活動、地域コミュニティづくりサポート等事業を進めてきましたが、本年度も継続し、雇用確保の実現に向けた取り組みにも更に力を注いでゆきたいと考えており、その実現を図るため各種の事業を展開して参ります。

今年の重点事業の 1 つは、就労支援事業の充実です、被災地の障害者は、支援の手が差し伸べられずに地域に潜在していると推定され、対象者数に比較し、まだまだ利用者の数は不十分で、利用者の掘り起しを進め、利用登録者を増やしていくことが重要と考えています。

利用者の確保と同時に就労支援センターで行う事業内容も重要で、昨年度までに各種の商品開発、生産基盤の整備を進め、ある程度の基盤が出来つつあり、それを有効に活用して、雇用の確保、利用者の工賃への反映を図る必要があります。

その基幹になるのは、「おおつちたすけあいセンター」で行う春巻き、シューマイを始めとする食品加工、ハーブを原料としたバジルソルトなどの加工品、まごころ猫ピンチ、サシェ等手芸品と今後ウエイトを高めたい釜石市天洞地区等のぶどうを原料とするワイン、被災地のリンゴを原料とするシードルの委託醸造・販売です、これらの生産、加工のノウハウの向上、販売ルートの確保、人材の確保等に力を注いで参ります。

被災地への個人、企業、団体などのボランティア受け入れと被災者への寄り添い活動は、継続していきます、地域的には、大槌地区のまごころの郷農園を活用した憩いの場づくり、釜石の天洞地区ぶどう園を活用した就労支援事業のサポート、遠野地区のバジル園等にボランティアの力を投入できるよう誘導して行きたいと考えています。これらは、農林水産省の 6 次産業化事業の趣旨に沿うもので、認定を受けている当法人が取り組むべき課題でもあります。

盛岡市の絆デザイン・魅力創造事業は、今年度も継続して受託することになったことから、被災地企業等の販売拡大支援に新たな視点も取り入れながら取り組みます。

防災・減災の対応は、体験、ノウハウの伝承、記録は欠かせません、今後も記憶に残る発信方法を模索し、常に情報発信を心掛け、復興支援マニュアルの整備を進めます、岩手県地域福祉課が主導する防災ボランティアのネットワーク会議が組織され、その一員にもなっておりますが、それに止まらず復興支援団体のネットワーク化を進めます。

復興を推進するためには、風土を生かした地域づくりをサポートすることも大切です、そのために三陸海の盆、地域の祭り、郷土芸能の伝承復活、観光資源の紹介・プログラム化、サンタ 100 人プロジェクトなどの各種のイベント等の企画、実施を適時・適切に進めます。

人材の活用や地域資源を有効に活かし、被災地と内陸部の交流する中で、起業や企業再建の手がかりを見つけ、雇用創出や地域の活性化に取り組みます。その一つが米通地区の取り組みで、昨年、水力発電を実現しました、今年度は、食堂の営業、産直の可能性等を探りながら、限界集落に例えられる地域の活性化方策を探ります。

財政的な事情もあり、事務局体制の充実は、難しい状況もありますが、そんな中でも人材の確保、効率的な業務推進に努め、ボランティアの力も借りながら、他団体との連携も進め、効果的かつ適時適切な事業の取り組みに努めます。

被災地の国直轄事業は、今年、来年が完了ピークと言われております、ハード事業は、順次整備

されつつありますが、生活再建等については、行政の限界も見えています、弱い立場の高齢者・女性の自立、支えに心がけ、解決策を模索し続ける必要を感じております、今後、更に復興が加速することを願い、会員の皆様等からの意見・提言も活動に反映しながら、事業に取り組んでいきます。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	時期	場所 地域	従業者数	対象範囲 予定人数	支出見 込額 (千円)
被災者支援のための情報収集、発信、対個人、対社会支援、基金創設事業	被災地、被災者への復興支援活動の企画立案および実施(インターネット等による情報提供・交流、ボランティア派遣、支援物資の提供、産業再生・とアドバイザー斡旋等)	通 年	岩手県及び三陸沿岸被災地	4	岩手県沿岸被災地の各市町の被災者(不特定多数)	105,000
	総合相談支援事業 遠野市の自然資源を活かしたメンタルプログラムの企画立案及び実施、助け合いセンターの運営					4,000
支援活動のノウハウ蓄積と災害時マニュアル作成事業	支援活動から得られるノウハウの蓄積並びに今後の自然災害時に活かせる支援活動マニュアルの策定					400
支援団体間の交流連携のためのネットワーク構築事業	被災者、支援者間の交流促進及び支援者同士の連携を図るネットワークづくり(まごころネットワーク)、東南アジアの青少年を対象とした防災学習ネットワーク事業	通 年	全国、フィリピン、インドネシア等	2	全国、フィリピン、インドネシア等	1,000
自然資源調査・活用事業	遠野の風土と観光を考える会事業の展開による遠野市の自然資源の調査、観光産業の振興、遠野市の自然資源の維持・保全の推進(自然エネルギーの活用) 観光等プログラムの企画立案及び実施	通 年	遠野市他 周辺地域	2	遠野市、三陸沿岸地域等	4,000
指定障害福祉サービス事業	障害福祉サービス事業所の運営	通 年	釜石市・大槌町ほか	11	釜石市、大槌町 外利用者 25 名	25,000
農林水産物の生産加工および販売事業	6次産業化事業の一環としてワイン用ブドウ、バジル等の栽培と商品開発、食品加工所等の運営、未来工房の運営等、被災地等の原料を使用したシードル、ワインの委託醸造、販売事業	通 年	大槌町、遠野市	4	釜石市・大槌町・遠野市、	7,000
被災地支援物品販売事業	復興支援Tシャツ、タオル、ねこピンチ、サシェ等販売による風化防止及び内職支援、	通 年	本部事務 所等	1	広域	14,000
					支出見込金額 (千円)	160,400

### (2) その他の事業

今年度予定なし